



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH
(JADR)

国際歯科学研究学会日本部会 会 報

1988—II

9月

I. 1988年第2回理事会

日 時：1988年4月18日(月)2:00pm

場 所：東京医科歯科大学歯学部会議室

出席者：常光会長、大橋副会長、亀山、木下、作田、清水、二階、堀内、見明各理事、長尾会計担当理事、佐々木事務局長

(オブザーバー：本部Constitution Committee委員 石川 烈教授)

1. 報告事項

1) 第66回国際歯科学研究学会 (IADR) 理事会総会報告

本年3月7、8日モントリオールに於て開催されたIADR支部長会、理事会、総会の要旨が常光会長および佐々木事務局長より報告された。これらのうち特に日本部会に関連する事項として

i) 会費の値上げが決まった。

ii) 1989年度第67回IADR大会はアイルランド、ダブリンで6月28日～7月1日に開催されることに決まった。

iii) 1995年の開催地に関しては、東京、ソウル、シンガポールの3つの候補地が挙げられたが、来年の総会時に決定することになった。

iv) Hatton Award のポストドクトラル部門で、日本部会推薦の飯田順一郎氏が第1位の授賞者として表彰された。

2) 日本部会に関するIADR会員数ならびに会費納入状況についてワシントン本部から通知があった旨長尾理事より報告された。

2. 協議事項

1) 第36回JADR大会の準備状況について

第36回JADR大会は、広島大学二階宏昌教授が準備委員長となり、1988年12月2日(金)、3日(土)の両日広島市県民文化センターで開催されるが、同委員長より準備状況について説明があり、その大綱が次のように決定した。

(1)一般講演とポスター発表とする。

(2)6月中に演題募集を発送する。

(3)8月末参加、演題申し込み締め切り

2) 名誉会員、終身会員候補者について推薦の依頼があった。

II. 1988年第3回理事会

日 時：1988年7月18日(月)2:00pm

場 所：東京医科歯科大学歯学部会議室

出席者：常光会長、大橋副会長、三浦前会長、亀山、木下、作田、清水、二階、堀内、見明各理事、長尾会計担当理事、佐々木事務局長

協議事項

1) 第36回JADR大会の準備状況について

準備委員長二階宏昌教授(広島大学)より、12月2日(金)、3日(土)の両日広島市県民文化センターで開催される第36回JADR総会の準備については、支障なく進められており、現在演題、参加申し込みを受け付けている旨報告があった。

2) IADR本部各種委員会委員の推薦について

ワシントンのIADR本部から依頼のあった委員推薦の件については、

(1)IADR 副会長候補者については適任者がいないので、今回は推薦を行わないこととなった。

(2)Hatton Award Committeeの委員として、堀内、作田両理事を推薦することに決まった。

3) 名誉会員、終身会員候補者の推薦について

(1)名誉会員については、該当者はなかった。

(2)終身会員については、候補者として挙げられた会員のうち、有資格者として2名が推薦された。

4) ICOB 派遣委員の推薦について

本年9月香港で開催されるICOBにJADRの代表として参加して頂く委員として、東京歯科大学高添一郎教授を推薦することに決まった。

5) その他

(1)IADRのHatton Award応募者については、来年からは日本部会の推薦枠が3名となったので、候補者を推薦してほしい旨、また各種学術賞については、各自応募されるように要請があった。

(2)1989年度よりの新理事の候補者については、会長、副会長、事務局長に一任し、適任者の推薦を行うことになった。

(3)日本歯科医学会の学会規則検討委員会でJADRへの助成金の再検討が行われている旨報告があり、JADRも引続き援助が受けられるよう努力して頂きたいという要請があった。

(4)IADR 韓国支部より梁源植会長、鄭鐘平事務局長が来日されたので、理事会で紹介された。

III. IADR日本支部および韓国支部役員の会談

IADRの日本および韓国支部の友好関係を深めるために、日本支部側代表として、常光会長、大橋副会長、三浦前会長、佐々木事務局長と、韓国支部の梁源植会長、鄭鐘平事務局長との会談が、7月19日に東京医科歯科大学で行われ、今後両支部総会時に互いに役員を招待するなどして、親密な連絡をとることなどについて友好的な話し合いが行われた。

IV. Hatton Awardの候補者募集について

若手研究者を対象としたHatton Awardの募集案内があったので、お伝えします。

1. 日本からの候補者総数枠：3名。

2. 部門

プレドクトラル部門：歯科医師免許、歯学士の学位、または理科系の博士号をもたない学部学生

ポストドクトラル部門：歯科医師免許、歯学士の学位、理科系の博士号をもつもの。大学院生、助手など

いずれもIADR総会（ダブリン）発表時36才未満のもの

3. 申し込みならびに締切

応募希望者は、日本支部会長の推薦が必要であるので、予め、事務局まで申し出ること。そして、IADR 総会用抄録に部門別に応募の旨を記載して、1989年1月2日までに到着するように、IADR ワシントン本部宛に送付すること。

4. 発表形式

IADR 総会の規定の形式のポスターによる研究発表を行う義務があり、審査委員の質問が行われる。

その他、不明の点があれば、事務局にお問い合わせ下さい。

V. 会費の納入についてのお願い

日本支部会費（年、3,000円）については、こちらに記録がありますが、IADR 本部会費については把握できず、ワシントン本部からまとめて未納者への督促が事務局の方へ度々参ります。お忘れないうち納入をお願いします。

なお、本部会費については、来年度（1989年）から値上げされ、

一般会員 25ドル（学生会費 5ドル）

雑誌購読会員 61ドル（ 〃 21ドル） になりました。

その代わり、クレジットカード（但し、MasterCard と Visa Card のみ）での支払いが可能になりましたので、支払い方法は楽になりました。

ワシントン本部から、新しい形式の会費請求書が各会員宛届いていることと思いますが、金額、クレジットカード名、番号を記入の上、サインをして返送して下さいれば、納入の手続き完了です。ドル預金がなくても、そのときの為替レートで換算されて、銀行預金から自動的に引き落とされ、手数料も不要です。これまで通り、銀行で小切手をつくり同封郵送されても結構ですが、手間がかかり、相当な手数料を取られますので、クレジットカードによる納入方式をお薦めします。

THE JAPANESE ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

国際歯科研究学会日本部会事務局

〒113 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学歯学部生化学教室内

電話 (03)813-6111 内線 5125・5126